

滋賀県翻訳・多言語対応ガイドライン (素案)

～誰にもやさしく、豊かな言語環境をめざして～

- このガイドラインについて 2 ページ
- 翻訳・多言語対応 3つの基本姿勢 3 ページ
- 翻訳・多言語対応 15の留意点 4 ページ
- 翻訳・多言語対応チェックリスト 21 ページ

www.pref.shiga.lg.jp/b/kokusai/tabunka/tagengo.html

このガイドラインについて

ガイドラインの目的

このガイドラインは、滋賀県多文化共生推進プランに基づき、滋賀県にお住まいの外国人住民や滋賀を訪れる外国人観光客の言語環境を改善し、よりの確な情報提供を推進するために、多様な主体が共有するものとして作成しました。

わかりやすい表記のあり方については、滋賀県でも「淡海ユニバーサルデザイン行動指針」が定められているところです。また国土交通省や文化庁など、国レベルでも独自の多言語対応に関するガイドラインが定められています。このガイドラインでは、これらの指針を踏まえつつ滋賀の実情に即応できる必要最小限の留意点としてまとめることで、できるだけ読みやすく、実用性のあるものを目指して作成しています。

より実用性のあるものにするため、このガイドラインは、今後皆さんからの意見を踏まえ、随時内容を更新していきます。実際に活用しながら是非ご意見をお寄せください。

▼ご意見の宛先

滋賀県商工観光労働部 観光交流局 国際室 多文化共生係

〒520-8577 滋賀県大津市京町4-1-1

TEL: 077-528-3063、FAX: 077-521-5030

MAIL: ff0001@pref.shiga.lg.jp

ガイドライン策定の経緯

ガイドライン策定にあたっては、翻訳・多言語対応の実務を担っている方々の意見を参考にしました。

平成29年4月から12月にかけて、実務事業者を中心としたオープンな形式での意見交換会、その他個別ヒアリングを実施し、それらの記録をもとにガイドラインの素案を作成、その後庁内意見聴取、パブリックコメントを経て、策定しました。

意見交換会やヒアリングの結果については、下記ページから参照することができます。

www.pref.shiga.lg.jp/b/kokusai/tabunka/tagengo.html (作成中)

ガイドラインの性質

このガイドラインでは、各分野における詳細の対訳表までは定めず、言語環境改善のための留意点を総合的にまとめるまでに留めたものとなっています。そのため、このガイドラインは翻訳・多言語対応に対する姿勢・考え方を共有するためのものとしてご活用ください。

翻訳・多言語対応 3つの基本姿勢

観光客だけでなく、在住者にもやさしい多言語対応を推進する

多言語対応というと、外国人観光客のことを想像される方が多いでしょうが、滋賀で暮らす25,000人も外国人にも同様にやさしい多言語対応を進める必要があります。滋賀県において「誰一人取り残さない」多言語対応を行います。

当事者がつくった訳語を第一に尊重し、共有しあう

様々な立場の人によって様々な解釈のもと翻訳が行われる結果、「訳語の不統一」が起きています。しかし状況や背景で適切な表現も変わる以上、完全統一の訳語を定めることはできません。そこでこのガイドラインでは、その言葉に携わる当事者がつくった訳語を第一に尊重し、共有することで、不統一状態の解消を目指します。

外国人の生活文化を豊かにする表記・情報整備を心がける

私たちが目にするチラシや看板、ウェブサイトに書かれたレイアウトや書体などの美しさ、そして使いやすさは、私たちの生活文化を豊かにします。それは外国人でも同じことです。レイアウトや書体、データなど媒体対応の配慮を十分に行い、外国人の生活文化に寄与できる表記づくりを推進します。

翻訳・多言語対応 15の留意点

1. 対象言語の選定

5ページ

- 1-1 対象となる地域の外国人住民、また外国人観光客の構成を調べましょう。
- 1-2 日本語の活用も多言語対応に寄与します。外国人にも伝わるよう、シンプルにわかりやすい日本語の表記づくりを進めましょう。
- 1-3 媒体ごとに特性を踏まえた優先言語を決めましょう。

2. 翻訳

8ページ

-用語・単語編-

- 2-1 訳語は当事者が責任をもって作り、ウェブサイト等を通じて公表しましょう。また言葉は生きものです。対訳表は随時見直しをしましょう。
- 2-2 訳語づくりにあたっては、できる限り公表されているものを準用しましょう。
- 2-3 その訳語が使われる状況を踏まえて、意味で翻訳するのか音で翻訳するのかを決めましょう。

-文章編-

- 2-4 予め、その文章の意図を翻訳者と共有しましょう。その上で、翻訳の元になる文章については、翻訳者が訳しやすい文章を用意しましょう。
- 2-5 翻訳の元になる文章は、翻訳後の文字数を想定して用意しましょう。

3. 媒体の掲載

13ページ

- 3-1 サインでは、複数の言語を混在させるとかえってわかりにくくなります。可読性・視認性・判読性を重視したデザインを心がけましょう。
- 3-2 紙媒体では日本語との併記を積極的に行い、日本語のわかる人と一緒に読めるような配慮をしましょう。
- 3-3 ウェブサイトの掲載では、ただ文字を載せるのではなく、正しい多言語データの整備を心がけましょう。
- 3-4 外国人にとっても読みやすく表現豊かな書体選び、文字組みを心がけましょう。
- 3-5 ピクトグラムはできるだけ標準のものを使いましょう。

4. 役割分担

19ページ

- 4-1 役割を分担しあえるよう、翻訳者だけに負荷が集中しないワークフローを作りましょう。
- 4-2 機械翻訳を活用する場合は、そのメリット・デメリットを十分に理解し、利用シーンに適したサービスを選びましょう。

1. 対象言語の選定

1-1 対象となる地域の外国人住民、また外国人観光客の構成を調べましょう。

【滋賀県に在住・滞在する外国人】

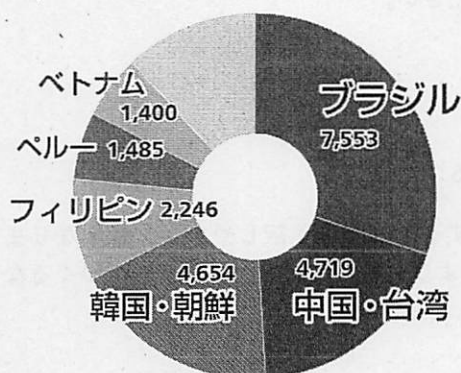
滋賀県にはおよそ25,000人の外国人が住み、またおよそ476,000人の外国人観光客が滋賀を訪れています。しばしば多言語対応というと英語・中国語・韓国語を想定される方が多いですが、在住者でみると、滋賀はブラジルやペルーなどの南米地域、またフィリピンやベトナムなどの東南アジア地域が多いのが特徴です。最近では技能実習生や留学生など、数年のみ滞在する外国人が増えており、その言語環境は様々です。

各市町別の外国人人口の統計は、下記ページにて公開しています。在留資格別・年齢別でもまとめているので、参考にしてください。

※滋賀県の外国人人口

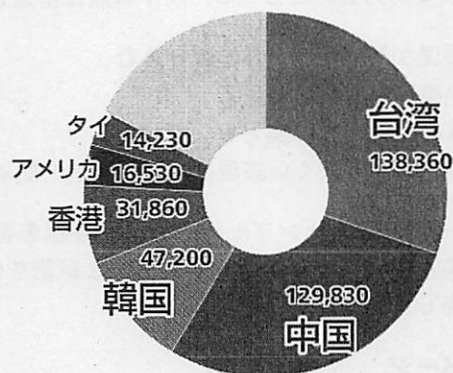
www.pref.shiga.lg.jp/b/kokusai/tabunka/population.html

(市町別・在留資格別・年齢別人口は現在作成中)



滋賀県の外国人人口

(平成28年12月31日時点、滋賀県観光交流局調べ)



滋賀県外国人延べ宿泊者数

(平成28年、観光庁調べ)

【誰がその情報を見るのかを意識して言語選定をする】

この表を見ると、外国人観光客向けには中国語、生活者向けにはポルトガル語を優先しようと思いがちです。しかし、公共空間に掲示されるサインの多言語表記については、本来国籍別の優先順位などはありません。ターゲット以上に、誰がその情報を見るのかを意識して、言語選定を行ってください。

対象言語の選定においては、以降に示す「1-2」「1-3」の留意点を踏まえて検討しましょう。

1-2

日本語の活用も多言語対応に寄与します。外国人にも伝わるよう、シンプルにわかりやすい日本語の表記づくりを進めましょう。

【やさしい日本語】

「明日は降雪のため、交通機関が乱れる可能性がありますのでご注意ください」

↓
「明日は雪が降ります。電車やバスが遅れるかもしれません。気をつけてください」

日本語は日本人のためだけでなく、外国人にも伝わる場合があります。「やさしい日本語」は、1995年の阪神・淡路大震災での経験をもとに、災害や避難を伝える簡潔な日本語の表現手法として、弘前大学の佐藤和之教授らが考案したものです。定住外国人が理解できる外国語として「日本語」をあげたのは62.6%だったのに対し、「英語」は44%だったという国立国語研究所の調査結果もあり、生活や観光などの場面でも活用が検討されています。

ただし、ここで提唱されている「やさしい日本語」は、旧日本語能力検定3級レベルの言葉を基準としていることから、表現の幅も限られます。そのため、やさしい日本語の活用においてはあくまで努力目標としつつ、以下の点に留意してください。

- ・ 重要度が高い情報だけに絞り込む
- ・ あいまいな表現は避ける
- ・ 難解な語彙を言い換える
- ・ 複雑でわかりにくい表現は、文の構造を簡単にする

特に一文を短くシンプルに、主語と述語を明確にすることで、翻訳しやすい文章となります。日本人向けのまま難解な言葉のまま翻訳を依頼しようとせず、翻訳用に日本語をつくるなど工夫をしましょう。

※参考ページ

- ・ 弘前大学社会言語学研究室「やさしい日本語とは」
human.cc.hirosaki-u.ac.jp/kokugo/EJ1a.htm

【よみがなの表記は生活者への配慮にもなる】

公共施設や公共交通の案内掲示について、特に外国人観光客に向けた英・中・韓国語の多言語対応が進んでいます。これらの施設は同時に外国人住民も、我々日本人と同じように利用します。

例えば右の図のように、読み仮名をつけるだけでカバーできる外国人もいます。彼らもまた多言語対応の恩恵を受けられるような配慮をしましょう。

←



かんこうあんないじょ 観光案内所
관광안내소

観光案内所
Tourist Information Center



バスのりば ご案内
Bus Stop Information

1	けいはんバス 京阪バス	Keihan Bus
2	おうみてつどうバス 近江鉄道バス	Ohmi Tetsudo Bus
3	ていさんこなんこうつうバス 帝産湖南交通バス	Teisan Konan Kotsu Bus

媒体ごとに特性を踏まえた優先言語を決めましょう。

【媒体に応じた多言語対応を】

媒体ごとに優先言語をまとめました。特にサインにおいては可読性・視認性・判読性を重視するため、案内用図記号（ピクトグラム）やよみがなを優先しています。また、ウェブにおいてよみがなはブラウザでルビを振る追加機能（アドオン）が公開されていることなどから、優先順位を下げています。

なおこの優先言語はあくまで目安とし、状況に応じて柔軟に対応しましょう。

※媒体ごとの優先言語

媒体	第1優先	第2優先	第3優先	第4優先	第5優先	...
サイン	ピクトグラム	日本語	よみがな	English	利用者にあわせた言語	...
紙媒体	日本語	よみがな	English	利用者にあわせた言語	...	
ウェブ	日本語	English	利用者にあわせた言語	...		

【特に防犯や禁止に関する表現は慎重に】

特に防犯や禁止に関するサインで、下図のように特定の言語だけを強調するケースが見られます。しかし自分たちの言語だけが載っていると、差別されているように感じるものです。実際に県内ではこうした対応に起因するトラブルも発生しています。

防犯や禁止に関するサインでは、例えば文字ではなくピクトグラムを活用するなど、特定の誰かを傷つけない配慮をしましょう。



なぜ禁止や注意を促す場面だけ外国語を前面に出すのか、外国人にとっては違和感を覚えます。また特定の言語だけを掲示することで、その言語を使う外国人への偏見・差別につながります。

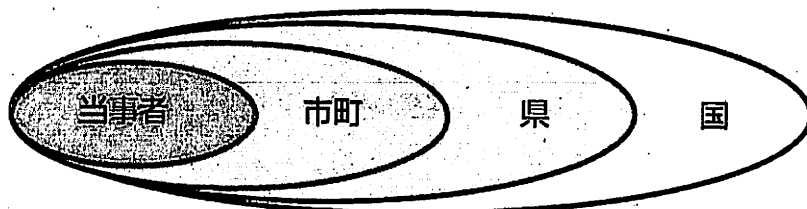
公共空間において禁止や注意を促すサインを設置する際は、特定のターゲットを定めないようにしましょう。ピクトグラムだけで趣旨のわかる掲示を心がけ、もし難しければその市町・地域・空間などで標準的に使われている公共サインのデザインとルールを合わせたり、禁止の表現を和らげることなどの工夫をしましょう。

2. 翻訳（用語・単語編）

2-1

訳語は当事者が責任をもってつくり、ウェブサイト等を通じて対訳表を公表しましょう。また言葉は生きものです。対訳表は随時見直しをしましょう。

【訳語の参照のしかた】



訳語はその言葉を使う状況、またその言葉のもつ背景によって変化するもので、正解というものはありません。そこで訳語づくりにおいては「当事者が責任を担う」という原則に立ちます。

逆に訳語を探す方は、まず当事者がどのように表記しているかを確認し、なければ市町の資料やガイドラインから、それでもなければ県、さらに国という形で範囲を広げます。ただし、市町や県などでつくられた訳語が、当事者の訳語、或いは国で定めたガイドラインに基づいていないケースが見受けられます。そのような場合は、当事者の訳語を尊重しつつ、逐次検討してください。

【対訳表の作りかた（例）】

対訳表は関係者以外の誰でも使えるよう、利活用可能なファイル形式で公開し、随時見直しを行ってください。CSV形式が望ましいですが、Microsoft Excelなどで使えるXLSX形式でも構いません。

2017.1.1	日本語	日本語読み	English	Português	Español	...
1	相談窓口	そうだんまどぐち	Consultation Desk	Guichê de consultas	Ventanilla de consultas	
2	職員室	しょくいんしつ	Staff Room	Sala dos funcionários	Sala de funcionarios	
3	保健室	ほけんしつ	Infirmary	Enfermaria	Enfermería	
⋮						

※注意事項

- ・ 日本語の読みの列を設けてください。
- ・ 訳語がない場合は空白にしてください。
- ・ 無駄な行・列を作ったり、セルを結合しないでください。
- ・ 欧文は全角文字で書かないようにしてください。

※サンプルデータ（和英対訳滋賀県組織名一覧）

www.pref.shiga.lg.jp/b/kokusai/jet/soshikimei.html（作成中）

訳語づくりにあたっては、できる限り公表されているものを準用しましょう。

【既に策定されているガイドラインや対訳表の活用】

観光や交通など、対象とするものによって、翻訳の方法・対訳が異なることがあります。訳語のゆれが起きないように、目的や対象に応じて、ガイドラインや対訳表を使い分けて活用してください。

なお現在滋賀県内市町においては翻訳・多言語対応のガイドラインが策定されていませんが、今後策定されることがあれば、その市町において参照してください。

※ガイドライン（例）

対象	タイトル	策定（改定）時期	URL
施設名・地名	国土地理院「地図等の英語表記規程」	平成28年4月	http://www.gsi.go.jp/kihonjohochousa/kihonjohochousa40072.html
観光施設名	国土交通省 観光庁「観光立国実現に向けた多言語対応の改善・強化のためのガイドライン」	平成26年3月	www.mlit.go.jp/kankocho/page08_000074.html
観光施設名	関西広域連合「関西全域を対象とする観光案内表示ガイドライン」	平成27年3月	www.kouiki-kansai.jp/contents.php?id=39
文化財（英語のみ）	文化庁「文化財の英語解説のあり方について」	平成28年8月	www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/kondankaito/eigo_kaisetsu
店内表示	経済産業省「小売業の店内の多言語表示にかかるガイドライン」	平成28年3月	www.meti.go.jp/press/2016/04/20160404002/20160404002.html

※対訳表（例）

対象	タイトル	策定（改定）時期	URL
防災	気象庁・内閣府・観光庁「緊急地震速報・津波警報の多言語辞書」	平成27年10月	www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/tagengo/tagengo.html
防災	自治体国際化協会「災害時多言語表示シート」	平成29年3月	dis.clair.or.jp/open-data/dis-sheet/list/1
法令	法務省「日本法令外国語訳データベースシステム」	（随時更新）	www.japaneselawtranslation.go.jp
税関	税関「税関関係用語集」	平成26年4月	www.customs.go.jp/kyotsu/yogosyu.htm
医療・保健	厚生労働省「感染症関連日本語英語対訳表」（仮訳）	平成29年12月	www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/taiyakuhyou
環境	環境省「自然公園等施設技術指針（第4部 多言語表記対訳語集）」	平成28年3月	www.env.go.jp/nature/park/tech_standards/02.html

その訳語が使われる状況を踏まえて、意味で翻訳するのか音で翻訳するのかを決めましょう。

【単語・用語の翻訳-意味で翻訳するか、音で翻訳するか】

翻訳には意味で翻訳する方法と、音で翻訳する方法があります。訳語をつくる際はそれぞれが混同しないよう、ケースに応じて使い分けてください。

	訳語例 (英語)	活用ケース	活用例
音で翻訳	Shiga Kencho	日本人と言葉を共有する必要のあるもの	停留所、避難所
意味で翻訳	Shiga Prefectural Government	利用者がその施設の意味を知る必要のあるもの	地図、観光案内

▼音で翻訳する場合

- 例1：タクシーで目的地（例：滋賀県国際協会）へ移動する場合

タクシーの運転手に行き先を伝えるときに「Shiga Intercultural Association for Globalization」と伝えても、タクシーの運転手はどこかわかりません。このようなケースでは「Shigaken Kokusai Kyokai」という名称で外国人に伝わっていた方が、簡単にアクセスできます。

▼意味で翻訳する場合

- 例2：地図でどこかの病院を探す場合

どこか病院へ行かなければならないときに、地図に「〇〇 Byoin」と書かれていても、外国人には「Byoin」の意味がわかりませんから病院を見つけることはできません。このようなケースでは「〇〇 Hospital」という表記で外国人に伝わっていた方が、簡単にアクセスできます。

- 例3：商談・協議をする場合（例：滋賀県国際協会）

海外の企業・団体に、企業・団体名から自分たちの事業を知ってもらいたいとき、「Shigaken Kokusai Kyokai」では海外の企業・団体には意味がわかりません。このようなケースでは「Shiga Intercultural Association for Globalization」という名称で外国人に伝わっていた方が、簡単に知ってもらうことができます。

2. 翻訳（文章編）

2-4

予め文章の意図を翻訳者と共有しましょう。その上で、翻訳の元になる文章については、翻訳者が訳しやすい文章を用意しましょう。

【意図が伝わるよう翻訳者と共有する】

誰にどのようなシチュエーションで伝えるものか、フォーマルなものかカジュアルなものかで、翻訳すべき言葉も変わります。どのような状況、背景で使われるのか、予め翻訳の意図を翻訳者と共有しましょう。

その上で、出来るだけ翻訳者が訳しやすい文章を用意しましょう。日本語のパンフレットを持ってきて、ただ「これを翻訳してほしい」と依頼するだけでは正確な翻訳はできません。その日本語文は翻訳しても相手に伝わる表現になるのか、翻訳後のイメージを翻訳者と事前に共有しあいながら、翻訳用の文章を翻訳者と一緒に考えてください。

日本語の原稿を用意してから多言語に翻訳するのではなく、最初からネイティブ（外国語を母国語とする人）に原稿を書いてもらうやり方もあります。意図を明確に共有しあい、それぞれの言語にあった表現を同時に作成することも一つの方法として検討しましょう。

翻訳の元になる文章は、翻訳後の文字数を想定して用意しましょう。

【翻訳後の文字数の目安】

概ねの目安です。翻訳後の文章の活用用途やその表示可能領域を考慮して、翻訳の元になる文章を検討してください。

日本語	English	Português	Español	中文 (繁体字)	中文 (简体字)	韓国語	Tagalog
1	2	2	2	0.6	0.6	1	3
—	—	—	—	—	—	—	—

※文例

日本語	年金を受け取るために必要な期間が10年に短縮されました	27字
English	The required period to receive pensions has been reduced to 10 years	68字
Português	O período necessário para o recebimento da pensão diminuiu para 10 anos	71字
Español	Ahora son 10 años para obtener la calificación para recibir la pensión	70字
中文 (繁体字)	領取年金的所需時間縮短10年	14字
中文 (简体字)	領取年金所須要的期間縮短為10年	16字
韓国語	연금을 받기 위해 필요한 시간이 10 년으로 단축되었습니다	32字
Tagalog	Ang panahong kinakailangan upang makatanggap ng pensiyon ay pinaikli sa 10 taon	78字

3. 媒体への掲載

3-1 サインでは、複数の言語を混在させるとかえってわかりにくくなります。可読性・視認性・判読性を重視したデザインを心がけましょう。

【サインの多言語表記】

多言語表記よりも可読性・視認性・判読性の確保を重視してください。記載文字量が増えると視認性の低下につながることから、文字の大きさや太さ等への配慮が必要です。

▼表記言語

日本語・英語（ローマ字）の表記を原則とします。ピクトグラムがあれば望ましく、表示領域に余裕があればよみがなを、またその利用者の層に応じた言語を付記してください。

▼表記基準

基本的に、利用者がそのサインを見る時間が短いほど情報量は少なくする必要があります。おおよその目安として、参考にしてください。

視認時間が長い → 表示言語を増やす場合でも、太さなどを変えて視認性を確保する



道路標識など



ひなんばしょ
避難場所
Evacuation Area
Locais de Refugio
Refugio
Lugar Para sa Paglikas
避難所



避難場所
Evacuation Area

視認時間が短い → 表示言語を最小限に留める

▼文字の大きさ（日本語併記の場合）

サインにおける日本語・外国語の表記の大きさの比率は、日本語：外国語=2:1（ポイント数では3:2）が一般的です。英語文字を小さくしすぎず、サインの大きさ等に応じて柔軟に対応しましょう。また、その他の言語を付記する場合、太さを変えることで日本語・英語の視認性を確保しましょう。

※サインにおける表記配置例



紙媒体では日本語との併記を積極的に行い、日本語のわかる人と一緒に読めるような配慮をしましょう。

【紙媒体の多言語対応】

▼日本語の併記を検討する

手続きに関する様式や制度に関するお知らせなど、生活について少し難しい言葉を取り扱う場合は、日本語を併記することで、翻訳の誤解を防いだり、日本語のわかる人と一緒にその文書を読むことができるようになります。

※日本語併記の例

QUESTIONÁRIO DE SAÚDE						
保健調査票						
Este questionário será utilizado para o exame médico. Favor fornecer todas as informações possíveis. この調査は、健康診断のために使います。わかる範囲で記入してください。						
Nome do aluno 児童氏名						
Data de nascimento 生年月日	Ano 年	Mês 月	Dia 日	Sexo 性別	Masculino 男	Feminino 女
Histórico clínico (Favor indicar com <input checked="" type="checkbox"/> as doenças que já teve e escrever a idade quando diagnosticado.) 今までにかかった病気 (今までにかかった病気に <input checked="" type="checkbox"/> を付け年齢を記入して下さい。)						
Colocar entre () o tipo da doença 種類・()に診断名を記入してください	Idade quando diagnosticado 診断年齢	Instituição médica 医療機関	Condição atual 現在の様子			
<input type="checkbox"/> Doença no coração 心臓の病気 ()	anos 歳		Em tratamento / Exame médico periódico / Curado 治療中 ・ 定期健診 ・ 治癒			
<input type="checkbox"/> Doença de Kawasaki / Arritmia cardíaca 川崎病 不整脈	anos 歳		Em tratamento / Exame médico periódico / Curado 治療中 ・ 定期健診 ・ 治癒			
<input type="checkbox"/> Doença nos rins 腎臓の病気 ()	anos 歳		Em tratamento / Exame médico periódico / Curado 治療中 ・ 定期健診 ・ 治癒			
<input type="checkbox"/> Diabete 糖尿病	anos 歳		Em tratamento / Exame médico periódico / Curado 治療中 ・ 定期健診 ・ 治癒			

▼1枚の情報量を詰め込まないようにする

1枚にたくさんの情報を載せすぎると、あまり読もうという気持ちになりません。併記に際しては情報を詰め込もうとせず、また言語ごとに文字の太さを変えるなどして、できるだけ余裕のあるレイアウトづくりを心がけましょう。

ウェブサイトの掲載では、ただ文字を載せるのではなく、正しい多言語データの整備を心がけましょう。

【ウェブサイトの多言語対応】

ウェブサイトの場合は、ただ文字を載せるだけでなく、データとして外国語であることを示すなどの対応が必要になります。検索結果に反映されるためのデータ整備、また多言語対応の可能なコンテンツ管理システム（CMS）の採用を行いましょう（いずれも専門知識を必要とします。ウェブサイト制作会社などに問い合わせせて検討してください）。

▼検索結果に反映されるためのデータ整備を行う

ウェブサイトの多言語対応について、Google Translateなど機械翻訳サービスのリンクボタンを付すだけでは、外国語での検索結果には一切反映されません。検索結果から流入を図りたい場合は下記に示す方法で対応しましょう。

• 言語の定義づけ

そのページが何語で書かれているものなのか、その定義づけを行いましょう。<html>のタグ要素に lang="ja" とある場合、そのページは（どの言語で書かれていても）日本語のページとして認識されます。

• 「構造化データ」への対応

例えば「15:15」と書かれた文字は、見る人によっては「15時15分」と捉える人もいれば、「15対15」と捉える人もいます。構造化データとは、その語彙が何を意味するかをタグによって定義づけることで、検索エンジンなどが理解できるデータのことをいいます。

構造化データに対応することで、検索エンジンはページに書かれているコンテンツの意味を理解し、各言語ごとの検索結果に反映することができます。特に施設情報の場合、利用者は施設の名前を検索すると、その施設がどのような場所か（飲食店なのか福祉施設なのか）、開店時間や電話番号など、基本的な情報が検索する人の言語にあわせて、検索結果に表示されるようになります。

▼多言語対応しているコンテンツ管理システム（CMS）を選定する

多言語対応の可能なコンテンツ管理システム（CMS）を選び、各コンテンツごとの多言語版ページを用意してください。それによってページ単位での言語切り替えなどが容易になります。

※多言語対応の可能なCMS（例）

- concrete5 concrete5-japan.org
- Drupal drupal.jp
- WordPress ja.wordpress.org

※WordPressについては、ガイドライン発表時点では標準で多言語対応していません。別途多言語対応のためのプラグインをインストールする必要があります。

- Bogo ja.wordpress.org/plugins/bogo
- Polylang ja.wordpress.org/plugins/polylang

外国人にとっても読みやすく表現豊かな書体選び、文字組みを心がけましょう。

【書体の選びかた、使いかた】

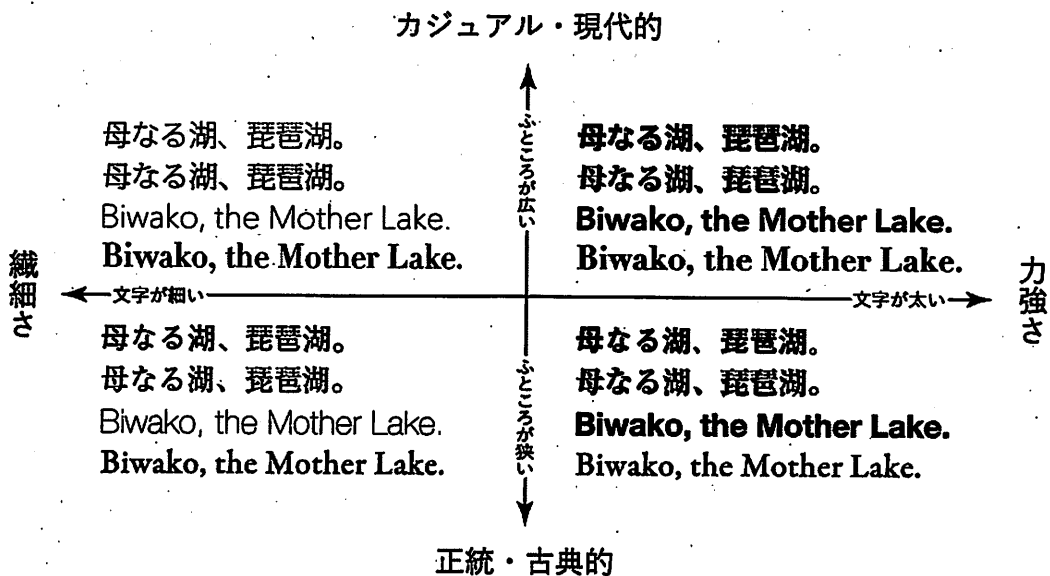
▼書体選びは、有料無料問わず様々な選択肢を持てるようにする

書体はその言葉の表情を決める重要な要素の一つです。書体ひとつで信頼感を与えることもできれば、逆に不信感を招く恐れもあります。

多言語表記の際、私たちはしばしば自分の使っているPCに標準搭載されているフォントのなかだけで外国語フォントを選びがちです。しかしそれだけではどうしても表現力に乏しく、的確なイメージで情報を届けることができません。多言語対応においては、様々な書体の選択肢をもてるようにしましょう。

下記に、書体の形状で伝わるイメージの違いを示しました。この違いは「ふところ」とよばれる文字の画にできる空間の狭さ・広さで変わるといわれています（広いものはカジュアルに、狭いものは安心感をもって伝えることができます）。また、力強さや繊細さといった印象も、ゴシックか明朝かという違いではなく、文字の太さで変わるものといわれています。こういった書体のバリエーションで表現を豊かにしましょう。

※書体のイメージ



▼汎用性の高いフォントファミリーを選ぶ

フォントファミリーとは、同じコンセプトながらも太さや縦横比の違うものをまとめたセットのことをいいます。フォント選びの際はできるだけ太さのバリエーションのあるものや、コンデンス（細長い）体をもつフォントファミリーを選ぶと、きれいなデザインを整えることができます。

※フォントファミリーの選定基準

- ・ 太さのバリエーションのある書体 (Light, Regular, Bold, etc.)
- ・ (欧文の場合) コンデンス (細長い) 体をもつ書体:
- ・ (サインで使用する場合) 視認性の高い書体:

Mother Lake
Mother Lake
Mother Lake
Mother Lake

フォント例: Helvetica Neue

Mother Lake
Mother Lake
Mother Lake
Mother Lake

フォント例: Avenir Next

Mother Lake
Mother Lake
Mother Lake
Mother Lake

フォント例: DIN Next

▼文字組みをする

字間・行間にゆとりを作り、字形を判別しやすくしましょう。なお日本語や他の言語と併記する場合は、太さにアクセントをつけるなどして、何語の文章かが分かるようにしましょう。

文字数が長くなる場合、説明不要な文は省略することで文字数を抑え、文字の大きさを確保することも一つの方法です。それでも文字数が長くなり、長体にせざるを得ない場合は、書体自体の水平比率を無理やり変えず、コンデンス (細長い) 書体を使用しましょう。

※文字組みの失敗例と良例

Shiga is ideally located within 100 km of multiple international airports and coastal areas near the center of Japan between the major cities of Osaka and Nagoya. Shiga is also serviced by the Meishin Expressway, one of Japan's major traffic arteries, and the Hokuriku Expressway, which together ensure easy access to all areas of the country.

✕ 文字が詰まって読みにくい。
文字も判別しにくい。

Shiga is ideally located within 100 km of multiple international airports and coastal areas near the center of Japan between the major cities of Osaka and Nagoya. Shiga is also serviced by the Meishin Expressway, one of Japan's major traffic arteries, and the Hokuriku Expressway, which together ensure easy access to all areas of the country.

△ 余裕のある行間で読みやすい。
ただし文字が小さすぎる。

Shiga is ideally located within 100 km of multiple international airports between Osaka and Nagoya. Shiga is also serviced by Meishin and Hokuriku Expressway, which together ensure easy access to all areas of the country.

○ 説明不要な文は省略して
文字の大きさを確保。

✕ Shiga Prefectural Government

機械的に縦横比を縮めると、文字が落ち着かなく見えてしまい、読みやすさを損ねてしまいます。コンデンス (細長い) 書体は長体用にデザインされており、文字組みも整います。

○ Shiga Prefectural Government

✕ division

○ division

日本語フォントで欧文を置く際、等間隔に文字が置かれて読みにくくないか気をつけてください。有名な欧文書体の多くは、縦線の間を均等に揃えて読みやすくする工夫がなされています。

ピクトグラムはできるだけ標準のものを使いましょう。

【JIS Z8210】

案内用図記号（ピクトグラム）のデザインは、日本工業規格で定められた「JIS Z8210」を基本とします。国際規格ではISO（国際標準化機構）が定めているものがありますが、JIS Z8210はISOの規格にも一定配慮されたものとなっています。また、JIS Z8210で定められたピクトグラムの多くは、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団が作成した「標準案内図記号ガイドライン」のピクトグラムが基になっています。こちらをご参照ください。

※JIS Z8210

www.jisc.go.jp/app/jis/general/GnrJISNumberNameSearchList?toGnrJISStandardDetailList

※公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団「標準案内図記号ガイドライン」

www.ecomo.or.jp/barrierfree/pictogram/picto_top2017.html

※JIS Z8210で定められているサインの一例



【その他のピクトグラム】

なお、その他活用できるピクトグラム利活用サービスについて、次のようなものがあります。誰にでも見やすくわかりやすいものを、用途に応じて選び、ご活用ください。

※その他のピクトグラム：

- ・ フードピクト（食物アレルギーや宗教上の戒律、ベジタリアンなどの事情で特定の食べ物を食べられない・食べてはいけない人たちのための食材表示ピクトグラム）
www.foodpict.com
- ・ Noun Project（ピクトグラム・アイコンのオンラインアーカイブ。大抵の作品においては一定の条件で二次利用が可能）
thenounproject.com

4. 役割分担

4-1 役割を分担しあえるよう、翻訳者だけに負荷が集中しないワークフローを作しましょう。

【役割分担の考えかた】

役割分担においては、「翻訳」と「レイアウト・デザイン」を切り分けることを第一に考えましょう。

紙媒体の運営において、翻訳者とその掲載枠に合うよう、翻訳者自らが翻訳語の行間や文字間を組んでいるケースが見られます。編集者・翻訳者、それぞれの役割を明確にするためにも、レイアウトを担えるデザイナーの役割を新たに設け、レイアウトや動線設計の負荷を軽減しましょう。

※ワークフロー案（多言語情報紙の編集を想定）



レイアウトを組む作業を、編集者と翻訳者それぞれが行っており、無駄が発生しています。編集者は全体の構成に、翻訳者は原稿の翻訳に注力できるような体制を組むため、デザイナーの役割を担える人が本来必要になります。



日本語の記事をレイアウトして
翻訳者に渡す



レイアウトされた原稿を翻訳して
レイアウトし直す



レイアウト組みはデザイナーが担うことで、編集者・翻訳者、それぞれの役割が明確になります。ウェブサイト構築においてはCMSがこの役割を担うこととなりますが、紙媒体においても同様の管理システムを導入するのがよさそうです。



デザイナーとはレイアウト構成を相談し、
翻訳者とは記事の趣旨を共有しながら
日本語の原稿をつくる



予め文字のサイズや行間などを決め
編集者と一緒に各原稿の文字数を決める



予め記事の趣旨を共有した上で
与えられた原稿の翻訳を行う



記事の内容や構成について
翻訳者とデザイナーと相談しながら
微調整していく



翻訳者からもらった原稿を
レイアウトの中に組み込んでいく



できた原稿はデザイナーに渡す

機械翻訳を活用する場合は、そのメリット・デメリットを十分に理解し、利用シーンに適したサービスを選びましょう。

【機械翻訳サービスの種類】

機械翻訳にも様々な種類があり、その良し悪しがあります。それぞれの特性を生かして適切なサービスを選びましょう。

▼クラウド上の翻訳エンジンを用いた機械翻訳

例：Google Translate、Microsoft Translator、VoiceTra

そのサービスがクラウドなどで持っている大量の辞書を使って翻訳しますので、自分の翻訳のニュアンスが合っているか確かめたり、或いは一定のニュアンスだけを知りたいケースにおいて有効です。一方で正確性は担保できないため、免責を付しておくなど注意が必要です。

▼予め作成された対訳表を用いた機械翻訳

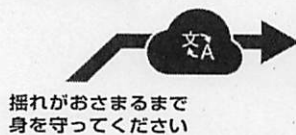
例：メガホンヤク、おもてなしガイド

特定の言葉に対して任意の訳語データを呼び出すので、決められた言葉を流す館内放送や、単語・用語しか使わない地図や経路案内の翻訳など、必ずその言葉が発出されるケースにおいて有効です。一方で、その時々に応じた柔軟な翻訳ができないため、注意が必要です。

クラウド上の翻訳エンジンを用いた機械翻訳

言葉は正確性を担保できませんが、どのような言葉でも翻訳することができます。

翻訳したい人がニュアンスだけでも知りたい時や、自分の翻訳が合っているか確認したい時に有効



Por favor protéjase hasta que el licuado desaparezca.



Protéjase hasta que acaben los temblores.



予め作成された対訳表を用いた機械翻訳

言葉は正確ですが、対訳表に言葉がない場合は翻訳することができません。

決められた言葉を流す館内放送や、単語・用語しか使わない地図や経路案内の翻訳で有効

【データ整備による機械翻訳活用】

機械翻訳の精度は、登録・参照される辞書に大きく影響します。機械翻訳に利活用できる対訳表などのデータ整備を進めることで、機械翻訳の利便性を向上させることができます。

例えば公共交通において、国土交通省ではインターネット上の経路検索充実のための取組として「標準的なバス情報フォーマット」を策定しています。このフォーマットに沿った停留所名の対訳表データを用意・公開すると、機械翻訳の辞書として対訳表データが参照されるようになり、経路検索・案内サービスの外国人向け提供が容易になります。詳しくは下記ページをご参照ください。

- 国土交通省「経路検索の充実に向けた取組」

www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000067.html

翻訳・多言語対応チェックリスト

○・△・×で、依頼者と翻訳者それぞれで評価を行い、内容を共有しあいましょう。評価結果は保管し、各自改善に努めましょう。

	頁	チェックリスト	依頼者	翻訳者
1. 対象言語の選定				
1-1	5	対象となる地域の外国人住民、また外国人観光客の構成を把握している。		
1-2	6	外国人にも伝わるよう、シンプルにわかりやすい日本語の表記づくりを進めている。		
1-3	7	媒体ごとに特性を踏まえた優先言語を定めている。		
2. 翻訳				
2-1	8	訳語は当事者が責任をもってつくっている。対訳表はウェブサイト等を通じて公表し、随時見直しを行っている。		
2-2	9	訳語づくりにあたっては、できる限り公表されているものを準用している。		
2-3	10	その訳語が使われる状況を踏まえて、意味で翻訳するのか音で翻訳するのか、使い分けている。		
2-4	11	予め、その文章が使われる状況や背景を翻訳者と共有している。その上で、翻訳の元になる文章については、翻訳者が訳しやすい文章を用意している。		
2-5	12	翻訳の元になる文章は、翻訳後の文字数を想定して用意している。		
3. 媒体の掲載				
3-1	13	サインでは、可読性・視認性・判読性を重視したデザインを心がけている。		
3-2	14	紙媒体では必要に応じて日本語との併記を心がけている。		
3-3	15	ウェブサイトの掲載では、正しい多言語データの整備を心がけている。		
3-4	16	外国人にとっても読みやすく表現豊かな書体選び、文字組みを心がけている。		
3-5	18	ピクトグラムはできるだけ標準のものを使っている。		
4. 役割分担				
4-1	19	役割を分担しあえるよう、翻訳者だけに負荷が集中しないワークフローを作っている。		
4-2	20	機械翻訳を活用する場合は、そのメリット・デメリットを十分に理解し、利用シーンに適したサービスを選んでいる。		

